

・認知症の初期支援を住民と行うことが大事だと再認識しました
・オランダの事例は、たいへん参考になりました。先生の本、読んでみます。
・認知症の説明の際によく使われている言葉が、認知症の人との境界を広げてしまっていることに気づかされました。認知症になっても、また、介護保険の認定を得ても地域と関わっていくことに変わりはなく、むしろ周りの地域が認知症の人とどう関わるかを学ぶ良い機会になるのだと感じました。
・初心に立ち返るようなご講演で大変貴重な時間となりました。認知症カフェ運営だけでなく、認知症の方とお話するときには気をつけていきたいと思います。
・認知症カフェの本質について理解できました。
・先生のもう1冊の著書名が知りたいです
・カフェの中で、どのような講話をしておられるのか、具体的に聞けたらなと思いました。
・認知症と気付いたり、診断されるととても辛い物だと思いますが、「友人と共有できるなら悲劇は深く鋭いものではない。」の言葉の紹介が私にとっては、カフェの必要性をととても分かりやすかったです。
・カフェの目的がとてもよく分かりました。継続していくことで、地域に根ざした集いの場になっていくのかなと思いました。
・とてもわかりやすかったです。認知症と診断されてから介護保険サービスを利用するまでの空白の期間の過ごし方は、本人だけでなく家族も含めて、すごく大切なのではないかと改めて感じました。
・認知症カフェというものの位置付けについて、初めて参加する者にも柔らかく分かりやすいお話でした。有難うございました。私自身、第一子出産後、仕事と育児や自分自身のバランスに悩み、話せる場が欲しいと思ったことがあります。その後、様々な学びを経て、育休後カフェというものを開く団体に所属していたことがあるのですが、話すことで得られる安心感は、問題は異なっても同じだなと思いました。 人間、どうしても自分が当事者になるまで分からない、気付けないことは多々ありますが、だからといって自分がその立場にならないと理解出来ないということはなく、語らうことで予め学びを深めたり、知ることが出来る、これは人にしか出来ないことだと矢吹先生のお話を聞いて改めて感じます。 また「(その時点での)非当事者」が理解を深める過程においては、先生も仰っていた「認知症診断前後で何か変わったか？」の問いかけのように、素朴な疑問から齟齬が発生してしまうこともあるかもしれませんが、そういったことを聞きあえるおおらかさも持ち合わせたいとも思いました。(特に自分がある物事の当事者の場合、理解してもらえていないと思ってしまいそうなので、反省をこめて) 様々な社会問題がありますが「その時点での当事者」のものだけではなく、いつか自分もそこに立つかも知れないという目線で、知って
・矢吹先生、休日出勤お疲れ様でした。貴重なお話ありがとうございました。資料がわかりやすくて良かったです。
・認知症カフェを定期的、継続的に開催し続けることの大切さを改めて認識することができました。

## 第2部についてのご感想やご質問をお願い致します。

・具体的な事例があってわかりやすかった
・具体的な事例があってわかりやすかった週1回、認知症の対象者をメインに実施するカフェの運営、普通の人にはちょっとハードルがあると感じました。
・いろんな地域で実践されている話を聞いて、以前、ケアマネの方が認知症カフェを立ち上げられたことを思い出しました。包括職員として、専門職として、どうやったら地域のかたと一緒にやっていけるか、今後も考えていきたいと思います。
・内容が良かっただけに、仕方がないことですがもっと事例発表の方の持ち時間があつたら良かったと思います。立ち上げの仕方や今のカフェの雰囲気などみちくさ亭の方のお話をもっとお聞きしたかったです。
・初期の関わりの中で、認知症カフェの位置づけが理解できました。
・1つ1つのカフェをもっと詳しく知りたかったです
・市民中心の住民型認知症カフェということで、市民の力を感じました。とても勉強になりました。私たちは、今はまだ行政主導でなんとか、立ち上げていこうとしているところです。カフェしらとりさんの空き家活用、素晴らしいと思いました。もっと、話を聞きたかったのですが、時間が無く残念でした。特に、運営費は結局どのように見通しがたったのか気になりました。ほっとカフェさんをはじめ、活動されているカフェに、ぜひ、見学にお邪魔させて頂きたいと思いました。本日は、貴重なお話をありがとうございました。
・当事者も家族も住民であり、いずれ誰もが通る道なら地域で一緒に過ごし生活を学び合うのは当たり前となるよう根差されていると感じました。
・楽しく過ごせることがとても大切だと感じました。
・具体的な事例を含めた講演は、今後の運営に大変参考になりました。
・実際に運営をされている方のお話が伺えて興味深かったです。
・遠隔地の事例も交えながら、内容盛り沢山でとても理解が深まりました！ 私自身は子育て中の身ですが、気軽に足を運べる認知症カフェがあるといいなあと思いました。カフェしらとり、行ってみたいです。
・貴重なお話ありがとうございました。皆様の取り組みを参考にさせていただきます。
・それぞれの団体の方々が、試行錯誤しながら開設され運営されていることを知ることができました。

## 住民型認知症カフェの開設講座についてのご感想やご質問をお願い致します。

・楽しみにしています
・参加したいと思っています
・どんな風に始めたらなど具体的なものが知りたいと感じました。

・私共の町内では、災害時に一人の重傷者（子供、弱者、高齢者他）も出さない目的で、日頃からの絆づくりに力を入れて住民活動を行っておりますが、最近では物忘れや認知症予防にも力を入れて取り組んでおります。コロナ過の中で、ほぼすべての行事が中止に追い込まれており、再構築を如何にすべきか・・・頭を痛めております。

・子育て中のメンバーはいますか？

・住民型認知症カフェは、認知症の当事者やご家族の方が通いやすいとおもうので、地域ごとに開設されたらいいのではないかと思いました。

## セミナーに対する全体的な感想・ご質問・ご提案など

・たいへんためになりました

・たいへんためになりましたとても勉強になりました。参加できてよかったです。

・認知症という病より、認知症といわれる病となった方を取り巻く環境の方の改善がとても重要なことは、よく理解できました。

・会場・オンライン両方で行っている研修に参加するのは初めてでした。大変だったと思いますが開催ありがとうございました。コロナ禍で開催が長期にわたり延期になっており担当職員としてモチベーションが下がっていた部分もあるので、開催前にこの研修に参加できて良かったです。

・昨年同様、認知症カフェの意義について大変関心が高まりました。認知症家族の介護経験者でもある千葉県のカフェの運営者がコロナ前と後の変化について語られており、詳しく聞きたいと思いました。

・大変 参考になりました ありがとうございます。

・事例発表をもう少し時間を取って欲しかったなと思いました。カフェ立ち上げは、相当な熱量も必要かと思っておりますので、そこの思いとか、とても参考になる事ばかりです。

・今までは認知症カフェが漠然とした感じでの理解でしたが、地域で支え合い助け合いながら生活する場の一部として必要なものだと感じました。貴重な講演を聞かせて頂き有難うございました。

・講演の資料がいただけるとありがたいというお声がありました。

・いやでも通らなければならない「高齢化社会」の現実・・・大変勉強に、また大変参考になりました。

・とても勉強になりました。特に矢吹先生のお話は本当に聴けて良かったと感じました。分かりやすく胸に響きました。

緊急事態宣言中のご開催で、会場設備等とても大変だったかと存じます。横道さんをはじめ、関係者の皆さまに本当に感謝です。

・本日は貴重な学びの機会をご提供くださり、誠にありがとうございました。

カフェ運営に費用がかかることは理解できますが、高齢者からお金を集めることが目的のビジネスにならないよう、運営される皆様はくれぐれもお気をつけください。

・これからの認知症カフェの在り方、必要性などを学ぶことができて良かったです。ありがとうございました。